

出張報告書

2021年3月15日

所 属	職 名	氏 名		
衛生学講座	講 師	石塚 洋一		
出張目的	Caries preventive strategies に関する共同研究			
出張地	スウェーデン イエテボリ大学 歯学部 カリオロジー科	時 期	2019年 5月 15日 2021年 2月 15日	出発 帰着
<u>報 告 事 項</u>				
<p>2019年5月15日から2021年2月14日までの1年9か月間、スウェーデンのイエテボリ大学歯学部カリオロジー科に Visiting Researcher として長期海外出張をさせていただきましたので、その概要についてご報告いたします。</p> <p>カリオロジー科主任の Peter Lingström 教授はイエテボリ大学の歯学部長で、イエテボリ大学は2021年に QS World University Rankings (QS 世界大学ランキング) の Dentistry の分野で首位になりました。</p> <p>研究では、Caries preventive strategies (齲蝕予防戦略) や Restorative materials (修復材料) に関する、さまざまなプロジェクトに携わりました。とくにフッ化物配合歯磨剤の効果的な使用方法として「歯間部フッ化物濃度に対する異なるブラッシングルーティンの効果」について、長期海外出張に関する役職者インタビューの際に目標に掲げた、Caries Research へのパブリッシュ (First author)¹と、COVID-19の影響で Online にはなってしまいましたが、ORCA (The European Organisation for Caries Research) congress での発表を達成することができました。また、2組のマスタープロジェクト (Stepwise excavation の Systematic review, ゲームと口腔の健康) のアシスタントスーパーバイザーも務め、歯学部の学生や大学院生を対象にカリオロジーのセミナーを開催することもできました。</p> <p>教育では、カリオロジーの講義と実習だけでなく、歯周病学、歯科衛生士プログラム、EU 圏外で教育を受けた歯科医師が免許を取得するための補完コース (KUT) の講義にも参加させていただきました。そのほとんどはスウェーデン語だったため、講義や実習の後、英語で質問にこたえていただきました。</p> <p>臨床では、Sahlgrenska Academy のカリオロジー科、歯周病専門クリニック、学生クリニックの他、Folktandvården (公立の歯科医院) の見学もさせていただきました。制度やシステム、使用する機器、薬剤、製品、治療方針、歯科衛生士の役割など、スウェーデンと日本の違いを知ることができました。</p> <p>とくにフッ化物に関しては、研究・教育・臨床やスウェーデンのナショナルガイドラインを通して、推奨される応用法、フッ化物イオン濃度、使用量、使用方法、Apotek (薬局) で入手可能な製品などを日本と比較して整理することができました。</p> <p>今回の長期海外出張により、専門領域の予防歯科に関する共同研究を、イエテボリ大学歯学部カリオロジー科と継続することが可能となり、さらなる発展が期待できます。また、スウェーデンの歯科医療を学ぶことで、スウェーデンの良さだけでなく、日本の素晴らしさも知ることができました。国によって文化・習慣・価値観などは異なるため、スウェーデンの良いところを日本に適したかたちで取り入れ、日本の予防歯科の発展に貢献したいと考えております。</p> <p>このような貴重な長期海外出張の機会を与えていただいた、井出吉信理事長・学長、齋藤 淳前国際交流部長、杉原直樹衛生学講座主任教授ならびに関係者各位に厚く御礼申し上げます。</p>				
参考文献				
1. Ishizuka Y, Lehrkinder A, Nordström A, Lingström P. Effect of different toothbrushing routines on interproximal fluoride concentration. Caries Research, 54(4):343-349, 2020				